

卒業式と入学式の季節である。フ
ラッシュバック、1969（昭和44）
年――。

この年は、東京大学の入学試験が
中止となった。安田講堂に立てこも
った過激派の学生を機動隊が排除す
るなど、日本全国の大学は騒然とし
た雰囲気にもまれていた。東大受験

東大紛争による社会実験の結末は？

を目指していた高校3年生や浪人生
は、受験の2カ月前に志望校変更を
余儀なくされた。法学部志望は京都
大学が一橋大学、経済学部志望は一
橋大学、理科系は東京工業大学、大
阪大学へと散っていった。

労働経済学や教育経済学の研究者に
とっては、「千載一遇」の社会実験
となった。平均的に見ると、有名大
学の卒業生が他大学の卒業生より
も、より一般的には大卒が高卒より
も、生涯賃金の高い職業、会社に就
職することが知られている。スタン
ダードな労働経済学によれば、高い
給与は高い生産性に対する報酬であ
る。では、高い生産性はどこで養わ
れたものか。

大学の卒業生といっても、そもそも
生まれつき優秀な学生、あるいは金
持ちの家庭の出身という、大学とは
無関係の要因によるので、大学の付
加価値は本当はない、というもので
ある。

一橋大学の川口大司氏の論文（同
氏のHP参照）では、本来、東大へ
行くべき学生が進学した3大学（京
大、一橋大、東工大）の73年卒業生
が、他の年の同校の卒業生と比べて、
出世の比率が高かったかどうかを考
察している。その結果は、民間企業
ではより出世したという証拠はない
が、官庁においては出世の比率が高
かった。ただし、3大学卒業生の官
庁における出世の（平常年比の）増
分は、東大の（平常年比の）減少分
を補っていない。

川口氏の推計によると、2003
年時点において、65年から83年まで
の（医学、看護系を除くすべての学
部の）卒業生で、官庁に就職して管
理職になった者の率は、東大が断ト
ツで14%、京大は3%、一橋大は2

少し解説が必要だ。民間での出世
確率は、そもそも平常時でも、東大
が3大学に対して強い優位性を持つ
ているわけではない。東大入試中止
は、その後民間に行つた者にとつて
は、それほど「傷」にはならなかつ
たと解釈できる。

しかし、官庁における出世におい
ては、個人の資質と東大の付加価値
（教育、ネットワーク、ブランド力）
の両面で東大出身者が成功する確率
が高い。ただし過去の話である。

官界で出世するには「東京大学卒
業だけが重要な要因である」という
のは当たらないが、「東大ではなく
3大学に進学させられた受験生のう
ち官庁希望の者は、人生の不利益を
被つた」ということになる。

経済を見る眼

今週の眼

東京大学大学院教授

伊藤隆敏

いとう・たかし ●一橋大卒、ハーバード大経済学博士。ミネソタ大准教授、IMF
上級審議役、大蔵省副財務官等を経て2002年より現職。専攻は国際金融、マクロ
経済学。06年10月から経済財政諮問会議の民間議員。

